

〔平成22年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

本年度の下水道事業は、汚水処理事業として平成17年度より着手した流域関連公共下水道事業の第2期事業において、汚水幹線築造及び管渠の面整備工事等を行うとともに、平成27年度までの第3期事業に着手しました。また、宇治・中村特定環境保全公共下水道事業では公共汚水ます等の設置工事を行いました。

雨水対策事業としては、雨水管渠の築造を行い、雨水管路の整備・拡充を図るとともに、ポンプ場の電気設備改築工事等を行いました。

維持管理業務においては、汚水処理場や雨水ポンプ場の適正管理を行うとともに、供用区域の水洗化に向けた地元説明会の開催や普及啓発に努めました。

1. 経営成績 (単位：千円)

区 分	金 額
収益的収入	1,980,642
収益的支出	2,231,566
当年度純損失(△)	250,924
前年度繰越欠損金(△)	58,419
当年度未処理欠損金(△)	309,343

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	63,505,680	負 債	788,988
固定資産	60,087,752	固定負債	18,766
流動資産	3,417,928	流動負債	770,222
		資 本 金	36,104,333
		自己資本金	5,566,387
		借入資本金	30,537,946
		剰 余 金	26,612,359
		資本剰余金	26,921,702
		欠損金(△)	309,343
合 計	63,505,680	合 計	63,505,680

3. 業務量の概要

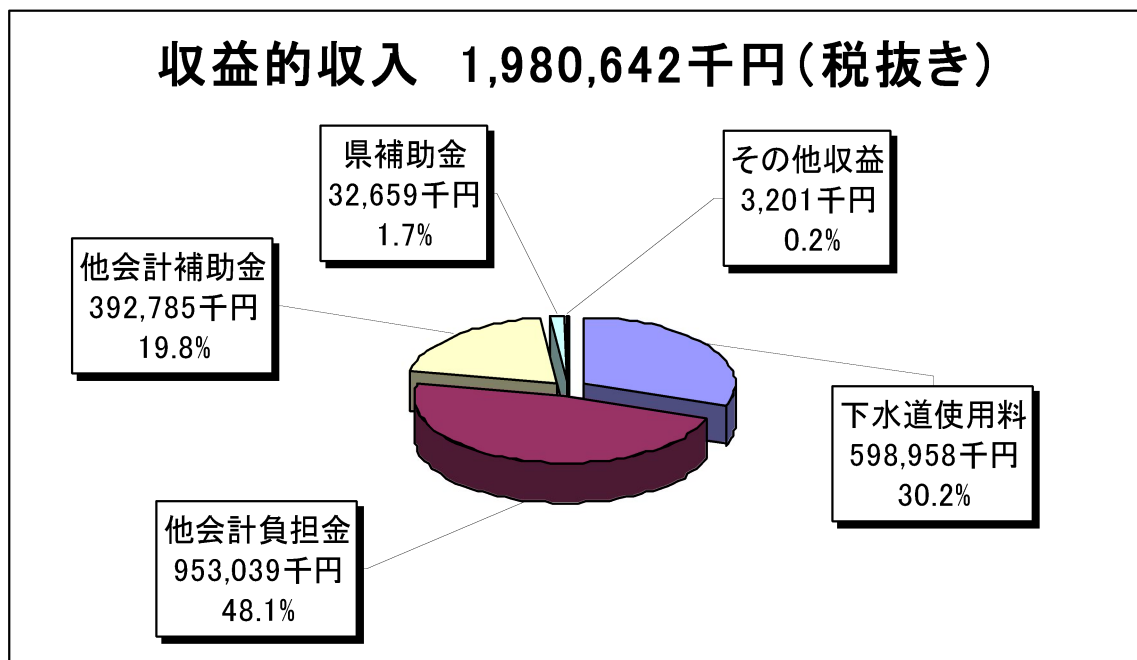
項 目	平成 22 年度	平成 21 年度	比 較	
			増・(△)減	比 率
行政区域内人口 A 人	133,527	134,049	△522	99.6%
処理区域面積 ha	1,342.9	1,113.3	229.6	120.6%
污水管渠布設延長 m	316,469	299,109	17,360	105.8%
処理区域内戸数 戸	20,162	17,197	2,965	117.2%
処理区域内人口 B 人	50,865	43,920	6,945	115.8%
水洗化戸数 戸	14,127	12,604	1,523	112.1%
水洗化人口 C 人	35,467	32,022	3,445	110.8%
普及率 B/A %	38.1	32.8	5.3	—
水洗化率 C/B %	69.7	72.9	△3.2	—
処理水量 D m ³ /年	4,452,870	4,041,400	411,470	110.2%
有収水量 E m ³ /年	4,228,142	3,883,524	344,618	108.9%
有収率 E/D %	95.0	96.1	△1.1	—
雨水管渠布設延長 m	10,517	9,847	670	106.8%
ポンプ場稼動時間 H/年	1,592.2	1,066.0	526.2	149.4%

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

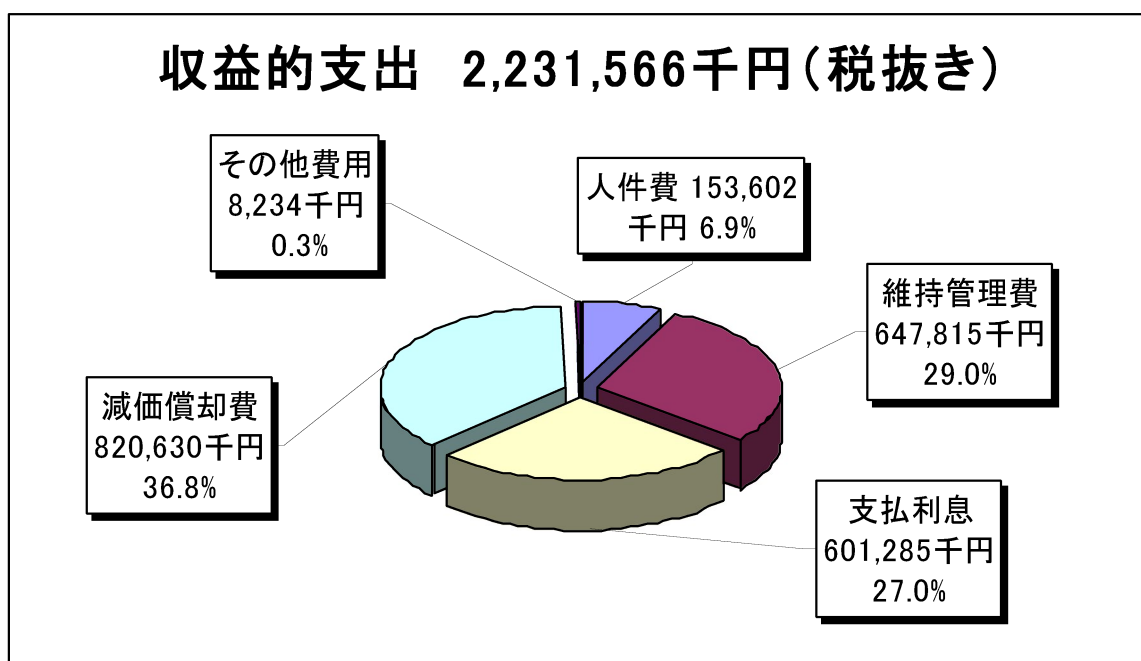
①収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）、県補助金等で構成しています。



②収益的支出

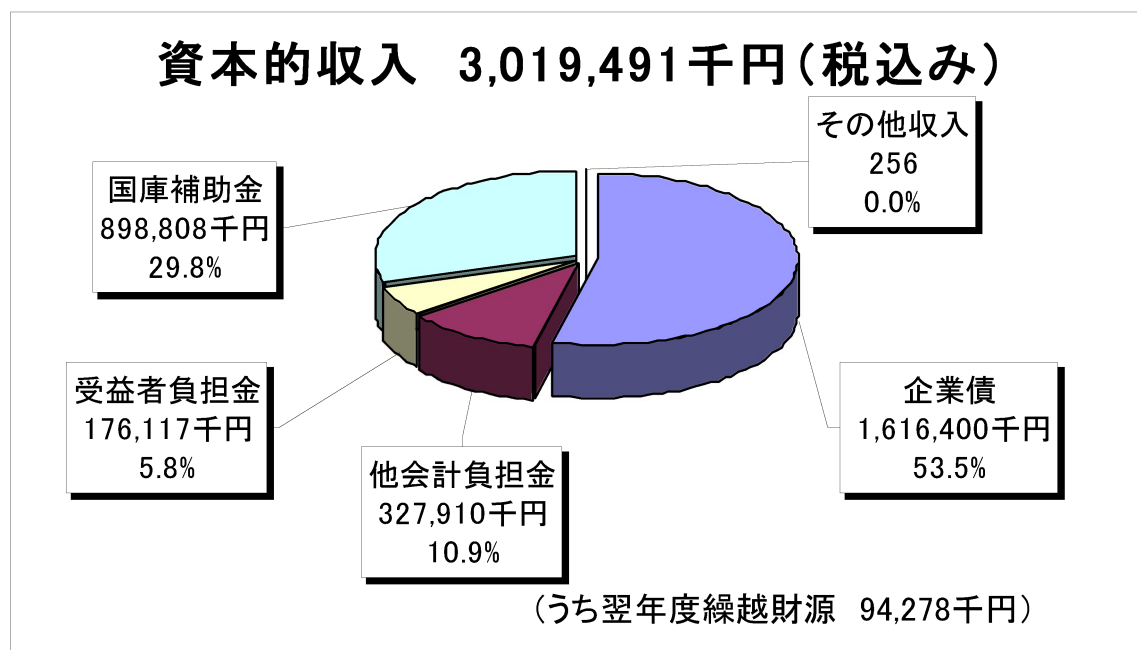
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を運営していくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

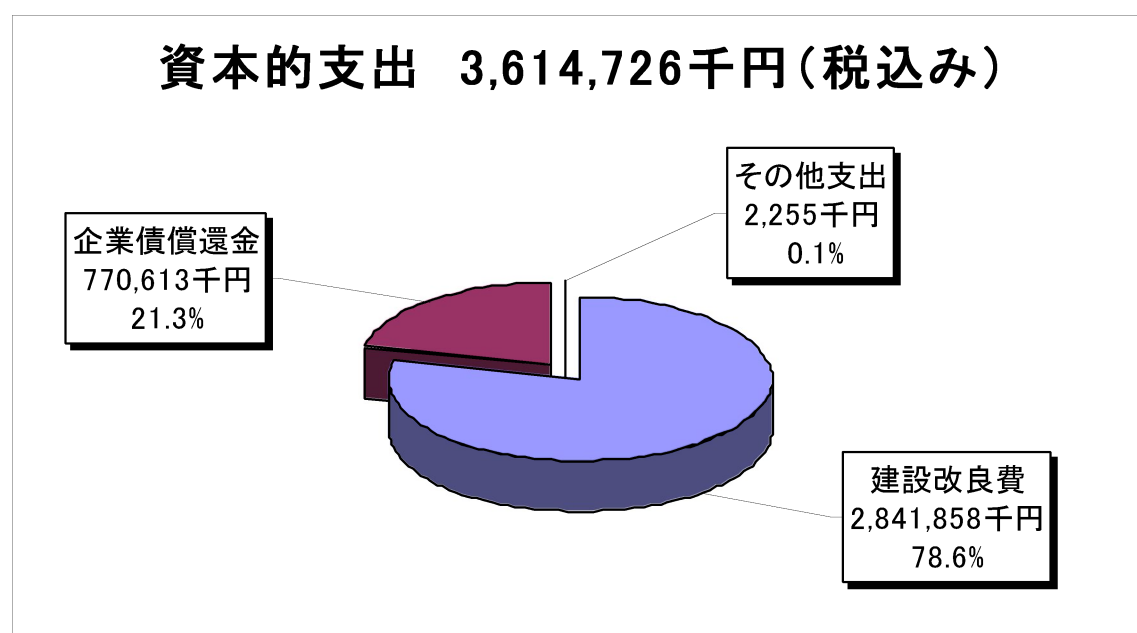
①資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、一般会計繰入金（他会計負担金）、受益者負担金、国庫補助金等で構成しています。



②資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金等で構成しています。



※ 資本的収入額（翌年度繰越財源 94,278 千円を除く。）が資本的支出額に不足する額 689,513 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 63,904 千円、繰越工事資金 3,181 千円、過年度分損益勘定留保資金 622,428 千円で補てんしました。